

認知症の情報交換・予防・相談ができるカフェ

オレンジカフェ静岡

11/19

2時~4時

コーヒー・紅茶

ハーフティ

お菓子 各100円

毎月第3日曜日

ミニ講話

私の声が見えますか？

認知症のスピリチュアルケア（魂のケア）

遠藤博之先生 たんぼぼ診療所

数年前、認知症の高齢の女性が癌末期となり、在宅緩和ケアをさせていただきました。初めてご自宅にお伺いし診察すると、余命いくばくもないことがはっきりわかりました。患者さんに「いかがですか？」とお尋ねすると、認知症のためか言葉にならない発語が聞かれ、とてもコミュニケーションを取れそうもありません。「この人にどうやって緩和ケアするの？」「この人なに？」「私は自分の心の中に渦巻く言葉に悩み続けました。しかしお伺いするたびに娘さんが本当に献身的に看病されています。私の醜い思いと、娘さんの看病との違いに愕然としながら、ある日、娘さんから一枚のお写真を見せていただきました。それは娘さんが幼稚園児だった時、お母様

（患者さん）とご一緒に遠足に行った時のお写真でした。私はそのお写真を拝見した時、頭が殴られたような気がしました。この患者さんは、私には認知症を患う訳のわからない事を言う患者さんですが、娘さんにとってはかけがえのないお母様だと痛感させられました。翌日、その方はご自宅でお亡くなりになりました。息を引き取る直前に、見守る娘さんが「お母さん、私を産んでくれてありがとう」とおっしゃられました。



遠藤博之先生の プロフィール

- 静岡市清水区出身
- 山梨医科大学
- 静岡済生会総合病院
腎臓内科医長・緩和
診療科科長
この間に緩和ケア
研究会を主催「やさし
さを追求する医療」を
目指す
- 2006年1月
たんぼぼ診療所開設

11月のイベント



上藤美紀代による 声のワークショップ

今、「朗読教室」が人気だそうです。NHKのテレビドラマ「この声をきみに」(毎週金曜日夜 10:00~)をご覧ください。主人公は、思いやりや配慮に欠ける不器用な数学者ですが、朗読に出会って始めて人の感情や温もりを感じられるようになります。声を出すと心身が開き、人とつながりやすくなることをうまく表現したドラマだと思います。「声のワークショップ」は“よき出会いの場”でもあります。どうぞお気軽にご参加ください。

前回に続き、「のどを鍛える」トレーニングも行います。

ヴォイストレーニング

元 SBS アナウンサー 上藤美紀代さん

最後に合唱しましょう

元パパさんコーラス指揮者

松永好夫さんの指揮と

アコーディオン伴奏

遠藤先生が、ミニ講話の中で中島みゆきの「時代」を、皆さんと一緒に歌いたいとおっしゃっています。その歌詞を掲載します。

時代 作詩・作曲 中島みゆき

今はこんなに悲しくて 涙も涸れ果てて
もう二度と笑顔にはなれそうもないけど
そんな時代もあったねと
いつか話せる日が来るわ
あんな時代もあったねと
きつと笑って話せるわ
だから今日はいくよよくよしないで
今日の風に吹かれましよう
まわる まわるよ 時代はまわる
喜び悲しみ 繰り返し
今日は別れた恋人たちも
生まれ変わって巡り会うよ

旅を続ける人々は いつか故郷に出逢う日を
たとえ今夜は倒れても
きつと信じてドアを出る
たとえ今日は果てしてもなく
冷たい雨が降っていても
めぐる めぐるよ 時代はめぐる
別れと出逢いを繰り返し
今日は倒れた旅人たちも
生まれ変わって歩き出すよ
まわる まわるよ 時代はまわる
別れと出逢いを繰り返し
今日は倒れた旅人たちも
生まれ変わって歩き出すよ
今日は倒れた旅人たちも
生まれ変わって歩き出すよ



会場 静岡市葵区城東町 34-14

城東コミュニティプラザ HapiSpo

会場提供

社会福祉法人 静和会

主催 特定非営利活動法人
ヒューマン・ケア支援機構

連絡先 ☎ 090-5620-6070

✉ orange@npo-humanicare.jp

※駐車場有ります



バスでお越しの場合 静岡駅北口5番6番線乗場
からの全てのバスご利用可「巴町」下車 徒歩5分